

脳卒中を発症された方へ

- 発症から在宅までの道のり -



このパンフレットは、脳卒中発症から自宅までの道のり（療養過程）、また再発予防について分かりやすくまとめたものです。

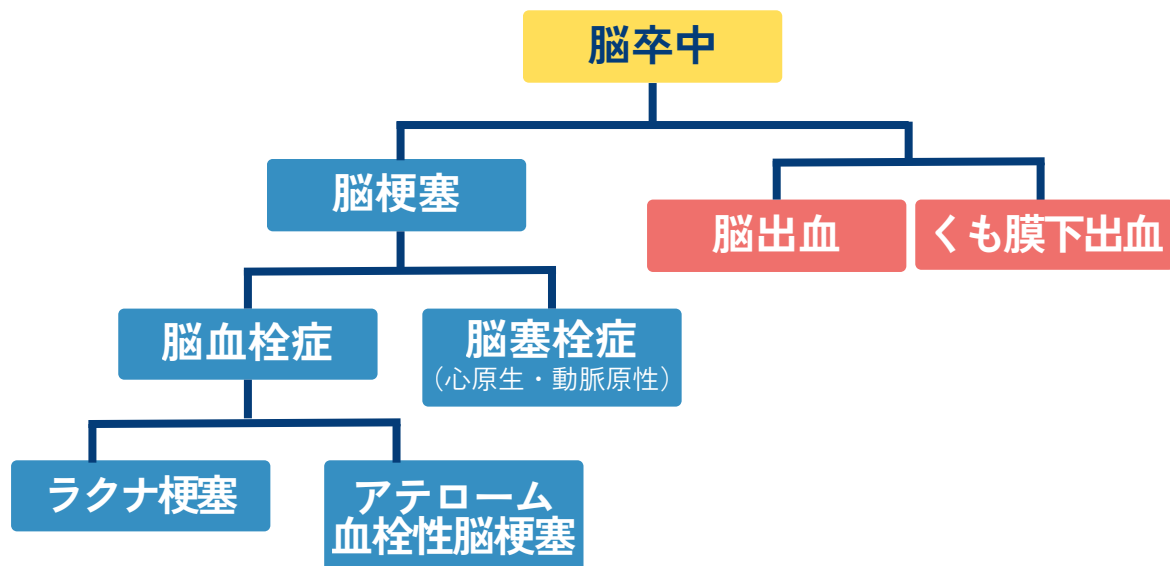
目次

- 脳卒中とは？ 1
- それは脳卒中かも!! 1
- 脳梗塞の治療 2
- 脳出血の原因と治療 2
- くも膜下出血の症状・治療法 3
- 急性期病院から在宅へ 4
- 脳卒中発症・再発予防の豆知識 5



脳卒中とは？

脳卒中は、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血のことを言います。脳卒中はある日突然発症し、軽微な後遺症から重篤な後遺症を残すことのある病気です。



それは脳卒中かも！！

下記のような症状がみられたら脳卒中の可能性あります。すぐに受診をしましょう。脳卒中は重症度、発症部位によって治療は異なります。早期発見で内服治療から外科的治療まで選択肢が増えます。



顔

顔がゆがむ



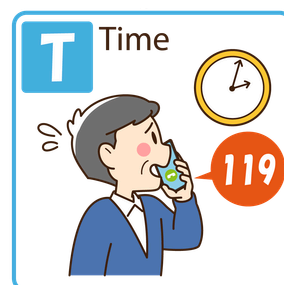
腕

腕が上がらない
力が入らない



言葉

呂律が回らない
言葉が出ない



時間

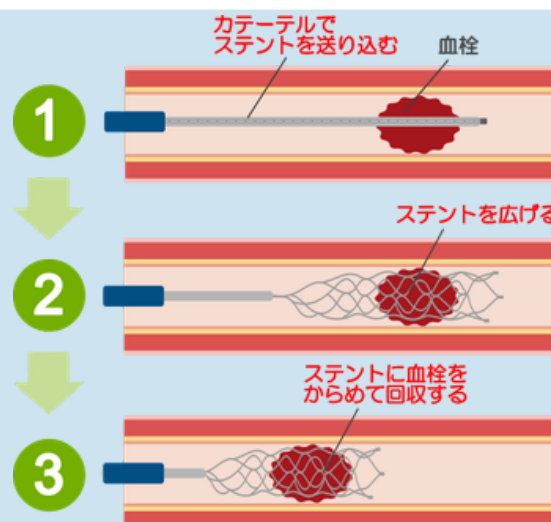
発症時間

脳梗塞の治療

当院では、脳梗塞に対しこのような治療を行っています。

○ 血栓回収術

発症から24時間以内を目安に行われます。血管の中にある血の塊を取り除くカテーテルを使った治療です。



○ t-PA療法（血栓溶解療法）

発症から4.5時間以内に行うことができます。血管の中にある血の塊を溶かす薬剤を流すことで脳梗塞の後遺症を軽減できる可能性があります。

○ 抗血栓療法

上記の治療を終えた後、血液さらさらの薬を飲むことで脳梗塞の再発予防や悪化を予防する治療です。

脳出血の原因と治療

【原因】

- 高血圧
- 脳アミロイドアンギオパチー（高齢者）
- 脳血管の先天的な異常

【治療】

- 開頭血腫除去術
- 内視鏡下血腫除去術

くも膜下出血の症状・治療法

くも膜下出血の主な症状は以下のようなものがあります。

【症状】

悪心（おしん）

嘔吐

硬直



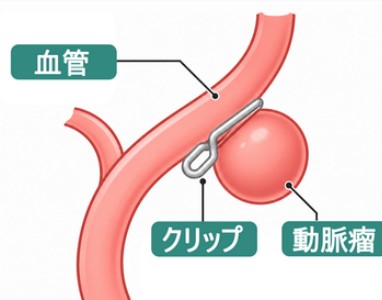
意識消失



【治療法】

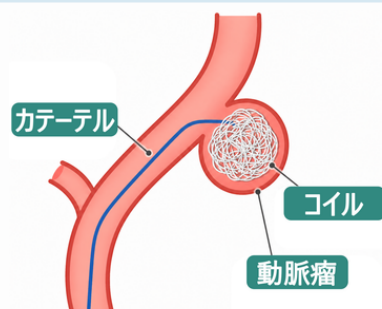
○ 開頭クリッピング術

- 小さな脳動脈瘤（3mm未満）では安全性が高い。
- 根治性が高い。



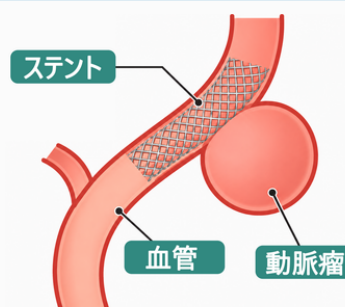
○ コイル塞栓術

- 低侵襲（身体への負担が少ない）なため、入院期間も短く社会復帰が早い。
- 頭を切開する必要がなく、外見上の傷が残らない。



○ フローダイバータースtent（予防治療）

- 未破裂動脈瘤への治療法。
- 低侵襲（身体への負担が少ない）なため、入院期間も短く社会復帰が早い。
- 脳動脈瘤への血流が遮断されるため、時間が経つほど完治の割合が上がる。



急性期病院から在宅へ

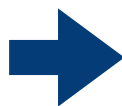
急性期病院で治療を行います。状態が安定すれば回復期リハビリテーション病院へ転院します。

回復期リハビリテーション病院では、より専門性の高いリハビリを行い、在宅で生活ができるように援助します。

また、後遺症（麻痺、高次脳機能障害など）を知ることで、安全に生活が送れるように援助しています。



急性期病院



回復期リハビリテーション病院

回復期リハビリテーション病院でリハビリを行い、問題なければご自宅に退院となります。

早期治療で後遺症を少なく！！

早期発見、治療により脳卒中による後遺症を最小限にする必要があります。後遺症を少なくし、健康寿命（介護を必要としない、日常生活に制限がない）を伸ばして楽しい生活を送りましょう。



仮に後遺症が残っても...

介護量が少なく、出来ることは自分で出来るようリハビリを行っていきましょう。脳のダメージの範囲により後遺症は様々ありますが、後遺症について知ること必要です。





脳卒中発症・再発予防の 豆知識

脳卒中予防には、血圧管理が大切です！！

- 血圧・血液サラサラの薬を勝手にやめない
- 適度な運動
- 水分補給
- 禁煙
- 塩分は、1日6g程度



MEMO

当院では、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師（2名）、
心不全看護認定看護師（1名）が在籍しています。
また、脳卒中相談窓口も開設しておりますので、安心してご相談
ください。



〒722-8508 広島県尾道市平原一丁目10番23号

TEL.0848-22-8111（代表）

<https://onomichi-gh.jp/>

JA尾道総合病院

🔍検索

発行：2026年5月

《参考文献》

日本脳卒中協会ホームページ <https://www.jsa-web.org/patient>